

こんな相談が寄せられています

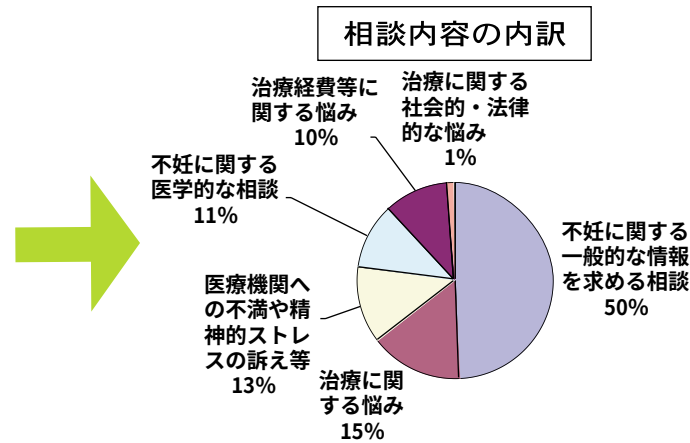
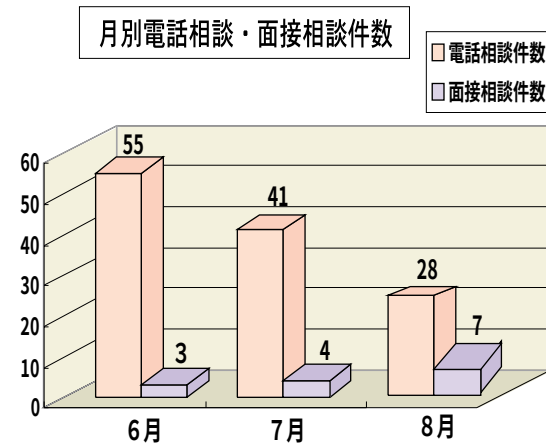
☆親兄弟や親戚あるいは友達、何気ない言動がプレッシャーになっていて、つらい。
 ☆あくまで不妊の当事者は「女性」であると考えているような夫の無理解さが悲しい。
 ☆親として、不妊治療を諦めている子どもへどのように対応したらいいのかわからない。

不妊治療に関する悩み

☆不妊の定義や原因、または検査や治療の副作用について知りたい。

不妊に関する情報を求める相談

沖縄県不妊専門相談センターに寄せられた相談内容の一部を紹介します



不妊専門相談センター

中央保健所（那覇市与儀）3階
 TEL. 098-854-7788

●電話相談●●●●

担当 専任助産師
 対応日時 週4回（月、火、水、金）
 13：30～16：30
 内容 不妊に関する一般的な相談指導
 情報提供

●面談相談●●●●

担当 専任医師・カウンセラー等
 対応日時 週1回（木）
 14：00～16：30
 ※予約制
 相談内容 不妊治療に関する医学的相談
 及びカウンセリング

※秘密厳守、相談無料

●お問い合わせ

県健康増進課

TEL:098-866-2209、FAX:098-866-2289

不妊相談講演会



不妊相談講演会で講演する北村氏

去る7月24日、南風原町にある（社）沖縄県看護協会内の研修センターにて、東京都不妊専門相談センター相談員を務める北村邦夫氏（日本家族計画協会・クリニック所長）を招いて、不妊相談のあり方について考える講演会を開催しました。

講演は、「不妊の当事者の悩みにどう寄り添うか～東京都不妊専門相談センター7年間の経験を踏まえて～」をテーマに、「東京都・ホットライン」に寄せられた相談内容を紹介する形で進められました。

「不妊は、男、女、あるいはその両方に原因があるかもしれないのに、女性だけが責められがちである。」「2人目が生まれないことに対する周りのプレッシャーが当事者を傷つけている。」等、不妊を取り巻く様々な問題点が指摘されました。

講演後に行ったアンケートでは、「知識が整理できた」「問題解決の糸口が得られた」等、受講者から多くの感想が寄せられました。今後も、このような講演会を実施する予定です。



不妊に関する悩みについて一緒に考えます

不妊症とは？
 子供を生みたいと思っているカップルが、性交渉を行っていても関わらず、二年以上妊娠しない場合を言います。
 原因はさまざまですが、八十%のカップルに不妊症の原因が判明しています。

結婚しているカップルの十組に十組は、子どもを望んでも妊娠しないといわれています。不妊症では、それくらい多くの方が悩んでいます。
 このような現状を踏まえ、県では、不妊でお悩みの方への支援策として、「沖縄県不妊専門相談センター」を開設しました。
 専門相談員を配置し、子どもを持ちたいにもかかわらず不妊に悩む人々が、正しく適切な基礎情報をもとに自己決定できるような専門相談サービスの充実を目指しています。もちろん、医学的な相談だけではなく、それぞれが抱える心の悩みもご相談ください。
 相談は無料、相談内容についても秘密厳守で対応します。多くの方のご利用をお待ちしています。

